



第3回 ながやまキッズ・セミナー 令和 8年 8月22日 開催

日本医科大学多摩永山病院 永山キッズ・セミナー2026

★新たな体験 「マイクロ スコープ」が 仲間入り★

昨年度の8つの体験に加え、今年度は新たに「マイクロスコープ」が登場！
腹腔鏡、看護、心肺蘇生、リハビリ、ドクターカー見学、ロボット手術、調剤、超音波に続く、**9つ目の体験**として、子どもたちが医療の世界をさらに楽しく学びました



今年度は、午前の部23名、午後の部109名の計**132名**の子どもたちが参加しました
午前の部は定員24名に対し**106名の応募**があり、**抽選で参加者を決定**！多くの子どもたちにご応募いただき、今年度も大盛況となりました



① 小学3～6年生の子どもたちを対象に、医療体験を通じて医療や健康について楽しく学んでもらい、健康への関心を高めるとともに、地域との交流を深める

② 医療現場のさまざまな仕事や感染対策を体験し、医療の役割や当院への理解を深めてもらう

開催の目的

各体験ブース①

①腹腔鏡体験（シミュレーター操作）



医師が実際のトレーニングで使っているシミュレーターを使って、医師さんながらの手技に挑戦しました！

①腹腔鏡体験（ビーズ移動）

鉗子（かんし）を巧みに操り、ビーズの移動や折り鶴に挑戦！みなさんの真剣な表情がとても印象的でした



②看護体験



赤ちゃんから高齢者まで！看護の世界を体験

今年度は「新生児体験」と「高齢者体験」が新たに加わり、看護ブースがさらにパワーアップ！



さまざまな体験を通して、看護師の仕事を楽しく学びました

③心肺蘇生・AED体験



人形を使って、心肺蘇生とAEDの使い方を実践！スタッフによる実演を交えた想定訓練にも挑戦し、いざというときに必要な救命処置を体験しました

- ①場所の安全を確認
- ②緊急通報とAEDを依頼
- ③呼吸を確認
- ④胸骨圧迫を開始
- ⑤AEDを胸に張る（解析）
- ⑥胸骨圧迫の継続（④～⑥の繰り返し）



各体験ブース②

④リハビリ体験

リハビリには、運動療法や作業療法など、さまざまな種類があります

患者さん一人ひとりの状態に合わせて、元の生活を取り戻せるよう支援しています



今回は以下の体験を用意しました

- ・車いす操作体験
- ・松葉杖歩行体験
- ・舌圧測定
- ・コース立方体
- ・アイリソックベリー試飲
- ・スプリット素材によるブレスレット作成体験
- ・ペグ

⑤ドクターカー体験

スタッフによる緊迫感あふれる想定訓練を実演！現場に急行した医師・看護師・救急救命士が、それぞれの役割を担いながら見事な連携を披露しました



救急医療のリアルな現場と、「救命の連鎖」の大切さを体感していただきました



⑥ロボット手術体験

普段はなかなか入ることのできない中央手術室へ、いざ潜入！

実際の現場と同じPPE（個人防護具）を身に着け、先端医療を支える設備や手術室の環境を体験しました



歴史ある施設の中にも、先端医療を支えるさまざまな設備が整っています



各体験ブース③

⑦調剤体験

駄菓子薬を薬に見立て、薬集めから分包まで、薬剤師の仕事を体験しました！

体験に使用した駄菓子は終了後にプレゼント！子どもたちの期待どおり大盛況のブースとなりました



駄菓子を通して、薬剤師の仕事を楽しく身近に感じてもらう機会となりました



⑧超音波体験

当院スタッフを被験者に、実際の超音波検査を体験しました

検査用ゼリーの役割などについてスタッフから説明を受けた後、いよいよ体験へ…！



皆さん真剣な表情で超音波画像を見つめ、心臓の弁の動きや腸の動きなど、身体の中の様子をリアルタイムで観察しました

⑨マイクロスコープ体験（今年度新設）

今年度から新たに加わった「マイクロスコープ体験」では、医療現場で使用されているマイクロスコープを実際に体験しました！

普段は肉眼では見ることはできない細かな世界を、マイクロスコープを通して観察。スタッフから使い方や仕組みについて説明を受けながら、「こんなに大きく見える！」と驚きの声も聞かれ、夢中になって観察する姿が印象的でした

医療の現場で活躍する精密な機器に触れ、「見る」ことの奥深さを楽しく学ぶ貴重な体験となりました

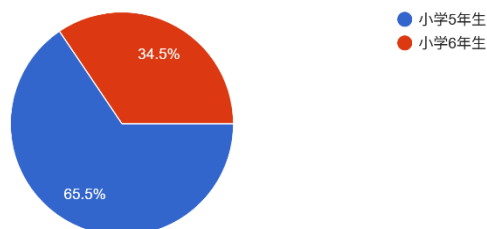


参加者アンケート結果（午前の部）

【体験者について】

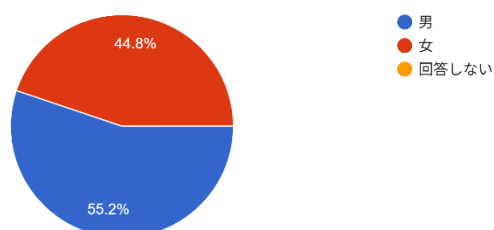
学年

29 件の回答



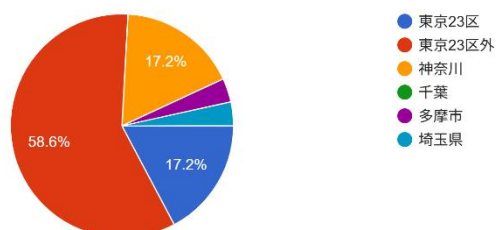
性別

29 件の回答



お住まいの地域

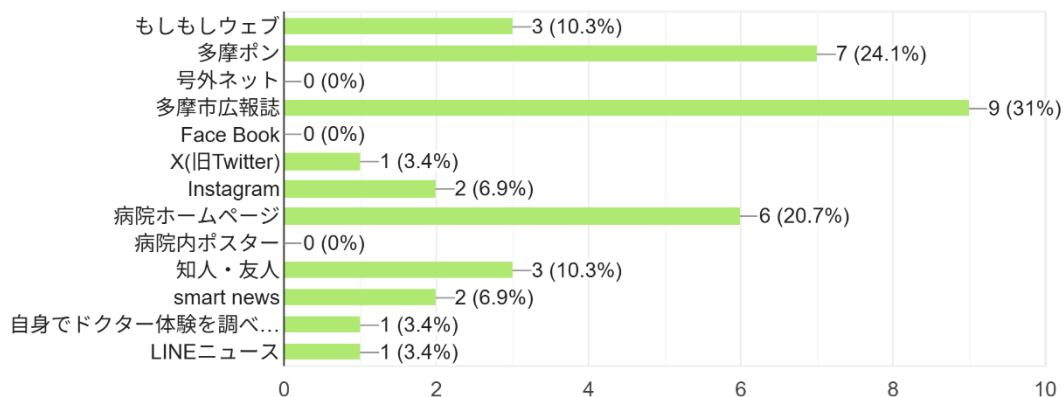
29 件の回答



【プロモーション方法について】

キッズセミナー開催をどこで知りましたか？(複数選択可)

29 件の回答



参加者アンケート結果（午前の部）

【午前の部について その他の意見・感想】

● **●普段は入ることのできない場所・触れることのできない機器を体験できたことが好評でした！**

中央手術室への入室や、ロボット手術（ダヴィンチ）、腹腔鏡など、普段は見ることのできない医療機器を実際に操作できたことについて、「貴重な体験だった」「もう一度やってみたい」といった声が多く寄せられました。

● **●さまざまな医療体験を通して、医療の仕事を身近に感じてもらえました！**

調剤や点滴の準備、心肺蘇生、ドクターカーなど、さまざまな体験を通して、医師や看護師だけでなく、多くの医療職がそれぞれの役割を担いながら医療を支えていることを知る機会となりました。

● **●臨場感あふれる実演や、医療スタッフの連携にも注目が集まりました！**

心肺蘇生やドクターカーの想定訓練では、医師・看護師・救急救命士による息の合った連携を間近で見ることができ、「本物の現場を見ているようだった」「命を守る仕事の大切さを感じた」といった感想が寄せられました。

● **●スタッフの丁寧で温かな対応も好評でした！**

子どもたち一人ひとりに分かりやすく説明したり、積極的に声をかけたりするスタッフの姿についても、「安心して楽しむことができた」「スタッフの熱意が伝わった」と、多くの好評の声をいただきました。

● **●医療への興味・関心が深まるきっかけになりました！**

実際に医療の現場や仕事を体験することで、「医師になりたいという気持ちがより強くなった」「医療の仕事に興味を持った」など、子どもたちの将来につながるうれしい声も寄せられました。

● **●「また参加したい」「これからも続けてほしい」という声も多数！**

「毎年開催してほしい」「中学生になっても参加したい」「次は別の医療体験にも挑戦してみたい」など、今後の開催を期待する声が多く寄せられました。また、「保護者も体験してみたい」という声もあり、子どもたちだけでなく、ご家族にとっても医療を身近に感じる機会となったことがうかがえました。

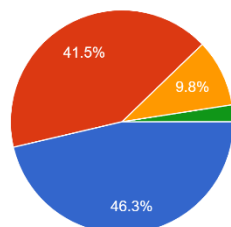


参加者アンケート結果（午後の部）

【体験者について】

学年

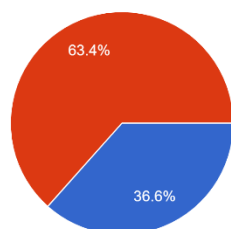
41 件の回答



● 小学3年生
● 小学4年生
● 小学5年生
● 小学6年生

性別

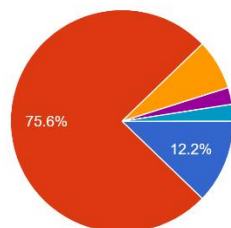
41 件の回答



● 男
● 女
● 回答しない

お住まいの地域

41 件の回答

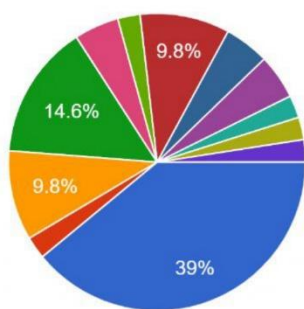


● 東京23区
● 東京23区外
● 神奈川
● 千葉
● 埼玉県
● 栃木県

【プロモーション方法について】

キッズセミナー開催をどこで知りましたか？

41 件の回答



● 病院ホームページ
● もしもしウェブ
● 多摩ボン
● 多摩市広報誌
● 号外ネット
● Face Book
● X(旧Twitter)
● Instagram
● 知人・友人
● 家族
● スマートニュース
● ネットニュースを見ている時に出てきた
● 病院の掲示
● リセマム

参加者アンケート結果（午後の部）

【午後の部について その他の意見・感想】

● 「とても楽しかった！」という声が多数！

子どもたちからは「全部最高だった」「とても楽しかった」「いろいろな体験ができて嬉しかった」など、イベント全体を楽しんだという声が多く寄せられました。夏休みの思い出や自由研究の参考にもなったとの声もあり、親子で充実した時間を過ごしていただけたようです。

● 普段はできない「本格的な医療体験」が好評でした！

特に、ロボット手術（ダヴィンチ）の操作体験など、普段なかなか触れることのできない医療機器を実際に体験できたことについて、「貴重な経験になった」「親も興味深かった」といった声が寄せられました。車いす・松葉杖体験なども含め、さまざまな医療や福祉の仕事を身近に感じる機会となりました。

● 医療の仕事や将来の進路を考えるきっかけにもなりました！

医療関係の仕事を目指している子どもたちからは、実際の医療現場を体験できたことを喜ぶ声が多く寄せられました。また、「どのような職種があり、どうすればその仕事に就けるのかを知りたい」という声もあり、医師だけでなく理学療法士などさまざまな医療職の仕事内容や資格取得までの道のりにも関心が寄せられました。

● スタッフの親切で丁寧な対応に、多くの感謝の声が寄せられました！

各ブースのスタッフについて、「皆さんとても親切だった」「説明が分かりやすかった」「子どもが安心して楽しめた」など、温かい対応を評価する声が多数ありました。特に心肺蘇生体験では、スタッフの熱意のこもった説明が印象に残ったとの声もあり、医療スタッフの仕事への姿勢を身近に感じていただけたようです。

● 「また参加したい」「来年も開催してほしい」という声も多数！

「来年もぜひ参加したい」「来年、再来年も参加したい」「中学生になっても参加したい」など、継続開催を望む声が多く寄せられました。昨年度に続いて参加された方からは、子どもが医療従事者を目指すきっかけになったという声もあり、今回の体験が子どもたちの将来を考える機会にもつながっているということがうかがえました。

● 今後の開催に向けた、さまざまなアイデアもいただきました！

「もう少し体験時間を長くしてほしい」「より多くの体験に参加したい」「春休みなど暑さを避けた時期にも開催してほしい」「中学生も参加できるようにしてほしい」など、今後の開催に向けたさまざまな提案が寄せられました。エコー体験については、内容がやや難しかったという声もあり、対象学年に応じた体験内容の工夫を求める意見もありました。

広報委員会事務局

☎206-8512

東京都多摩市永山1丁目7番地1

☎042-371-2111（代表）



日本医科大学 多摩永山病院
NIPPON MEDICAL SCHOOL TAMANAGAYAMA HOSPITAL